



モスクワ日本人学校

# しらかば

第1号

モスクワ日本人学校  
一人一人が輝く学校  
笑顔あふれる学校

児童生徒数 96名

(E-mail)

[school@mosnichi.com](mailto:school@mosnichi.com)

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

## 仲間がいる

校長 石川 賢

いちばん辛いのは、友だちに会えないこと。でも、みんなの顔を見られて声が聞けて嬉しい。スイッチが入ります。やる気がわいてきました。中学部のAさんは、オンライン・ミーティングの「朝の会」後に、終始笑顔でそう語ってくれました。

新潟市の学校に勤務していた頃の出来事を思い出しています。交通事故で意識不明になった男の子が、級友の応援ビデオで意識を取り戻していく話です。悲しくて、不思議で、そして心温まる話です。十五年経った今でも鮮明に覚えています。

夏休みも終わりに近づいた八月下旬の夕方。新潟市立O小学校二年生W君は、友だちの家から自転車に乗る途中、大型トラックと衝突して全身を強く打ち、意識不明のまま救急病院に搬送されました。最悪の事態も覚悟した事故でしたが、懸命の治

療の甲斐があり、一命を取り留めることはできました。しかし、W君の意識は戻りませんでした。

不安の中で二学期が始まり、学級の子どもたちは、W君への思いを込めてメッセージビデオを収録し届けました。その日の夕方、ご両親は、未だ眠りから覚めない我が子と一緒にビデオを視聴しました。

「奇蹟」が起きたのはその後でした。意識が徐々に戻り始めたのです。一人一人の呼びかけや全員が気持ちを入れて歌った合唱がW君の脳を刺激したのでしょうか。その真偽は分かりませんが、「仲間がいる」ことの素晴らしさに感動しました。

不自由な生活がしばらく続きそうです。心細くなり不安になることもあるでしょう。しかし、そんな時こそ仲間は大きな力になる。今、子どもたちは大事なことを学んでいます。